



世界に希望を生み出そう



職場訪問「アクアイグニス仙台」

仙台市集団移転跡地利活用事業、宮城県沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業として、2022年4月に開業したアクアイグニス仙台を訪問。地中熱回収システム導入による省エネ対策、SDGsへの取組みなどお聞きしてきました。



アクアイグニス仙台 地中熱回収システム 温泉棟地下1650m²にスリンキー式コイルを設置

(株)深松組と仙台reborn(株)、東北大学多元物質科学研究所が、アクアイグニス仙台内 農業ハウスに栽培用自然エネルギー利用熱源システムを開発・導入。

東北大学の丸岡伸洋助教らが開発した、熱効率を従来の約80倍に高めた装置を活用。太陽熱をカイロなどに使われる「酢酸ナトリウム三水和物」という素材に蓄える。燃料費高騰や脱炭素化の対応策になり、回収した熱は蓄熱槽にておよそ50℃で蓄熱し、館内の空調・給湯、温泉や床暖房の加温、ハウス土壌の温調などへ利用しているそうです。

文責：高橋 渉

蓄熱式を利用したカイロを実際に手に取ってみました



仙台の街並みや仙台湾を眺めることができる展望台



本店は予約の取れない人気店として知られている
 笠庵「賛否両論」での昼食



壁には、仙台市若林区藤塚の地名に因んだ藤の花の模様



地元の農産物を販売する「マルシェ」